



JIC インフォメーション

第 146 号 2007 年 9 月 10 日

年 6 回 1・2・4・6・9・11 月の 10 日発行

1 部 500 円

発行所: JIC 国際親善交流センター 発行責任者: 伏田昌義

<http://www.jic-web.co.jp>

東京オフィス: 〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-1 小島ビル 6F

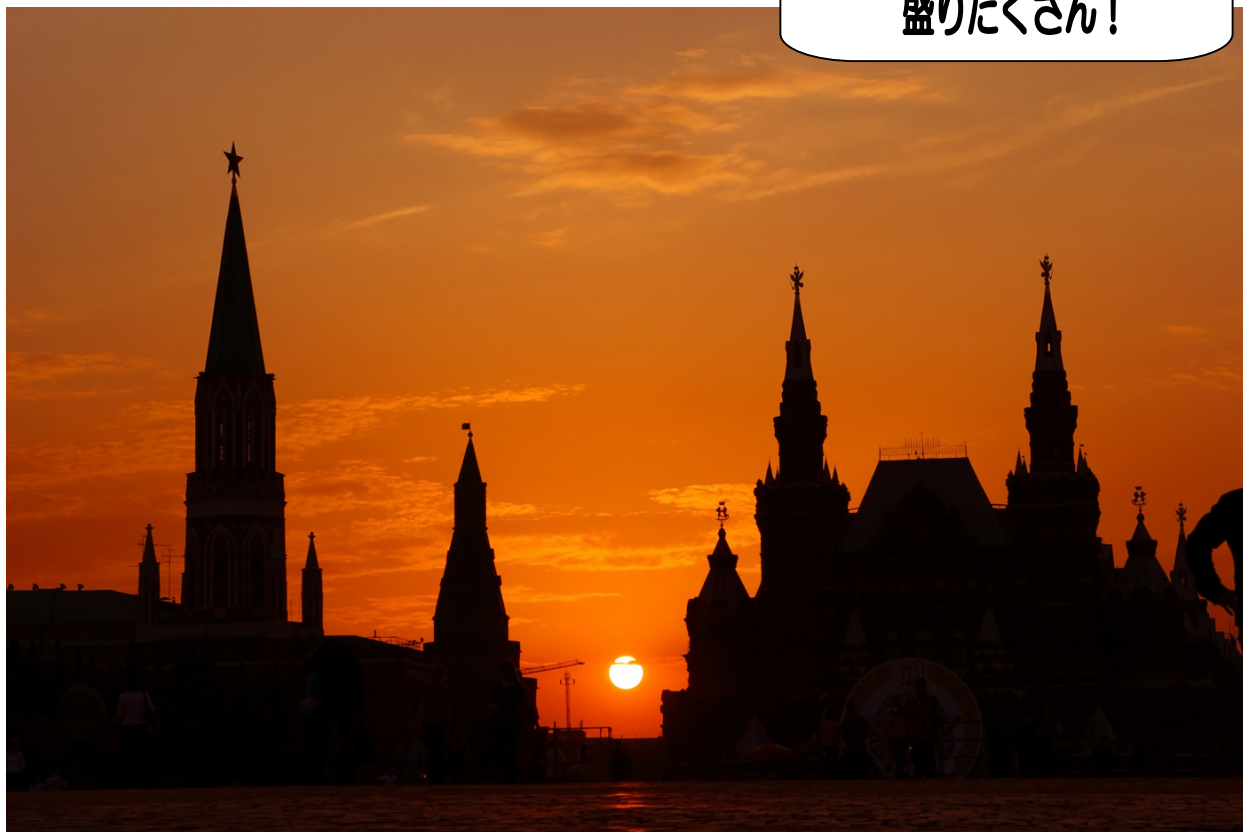
TEL: 03-3355-7294 jictokyo@jic-web.co.jp

大阪オフィス: 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-1-22 フェアステージ大手前ビル 5F TEL: 06-6944-2315 jicosaka@jic-web.co.jp

ロシア・旧ソ連 国際交流誌

秋の夜長に
ロシアの芸術鑑賞はいかがですか？

ロシア音楽・バレエ情報
盛りだくさん！



「日本の旅 Exotic Japan」

刈が・フォーク (草月流生け花・モスク支部) 2-5P

訪日ロシア人・ウクライナ人珍客事件簿★ 6P

芸術の秋を楽しみましょう 7P

ロシアバレエ情報・JIC モスクワ通信 8-9P

ロシア文学カフェ報告 10-11P

ロシア情報 12-13P

JIC 情報 14-16P

JIC では、Jクラブ(JIC 友の会) 会員を募集しています。
年 6 回の情報満載のインフォメーションをお届けします。

日本の旅 Exotic Japan

—— 日出ずる国を自分の足で、車で、鉄道で、
空路で、海路で旅した2週間 ——
オリガ・フォミチョーフ(草月流生け花・モスクワ支部)



「タカマツって、どこ？」

モスクワのシェレメーチェボ空港でチェックインする時、JALの係員に聞かれた。日本航空のモスクワ線チケットは日本の国内便のチケットを切り込むことができる。しかし、それでもタカマツなんて地名はめったに書かれていない。

実際に外国の旅行者がよく訪れるルートからかなりかけ離れていたにもかかわらず、JICはこの旅行を快く手配してくれた。旅行の好印象は最初から最後まで変わらなかった。私たちは行く先々で美しい景色を見、和やかな人々に出会い、珍しい体験をしたが、それらは忘れがたい思い出に変わった。

日本での初日。東京に到着した日は、様々な感情と印象が次から次へといっぱい通り過ぎ、まったく違う惑星に着いたような気がした。

二日目は、首都からそれほど遠くない秩父という田舎町に出かけ、豊かな自然と日常生活が息づく歴史的な街を歩き、現実の日本とふれあった。

三日目は、本州から四国へ飛んだ。のんびりと素晴らしい景色を観察し、春の象徴である桜のほのかな香りを吸い込む。極上の料理を楽しみながら、日本のリズムにだんだん慣れてゆく。あっという間に一週間が過ぎた。

最後に首都での二日間。現代的な大都市の生活に引き戻されつつ、大都市の中で静かな公園を探して散歩した。

最終日は、ショッピングとさらに何か新しいものを見たいという希望を両方満たそうとしたが失敗。旅行の終わりが近づき、寂しさを覚えながらホテルへ帰ると、信じられないほどスペースが無くなり荷物が入らなくなってしまったトランクの整理が待っていた。

離陸後の飛行機の窓から神聖な山・富士山に手を振って、

絶対もう一度日本に来ることを自分に約束した。

秩父～古き良き日本のたたずまい

この町は東京から北西の方角にある。池袋駅から電車で約二時間、簡単に行ける。

秩父の特徴は、あまり広くない通りと19世紀半ばから今に残る多くの民家だ。ほとんどの家の前には小さな庭か、鉢植えの植物からできた庭のイミテーション(盆栽)がある。あるいは竹の花瓶に椿の花が上品に生けられている。

このあたりは桜の花が美しいと言われる。しかし、私たちがここを訪れたのは女の子と人形の行事である「ひな祭り」の3月3日。桜の季節には少し早すぎた。皆さんがお花見できる季節にここに来られるのであれば、見逃さないで欲しいものがある。それは桜の咲く空の下を灰色の煙を吹き上げて走る、昔なつかしい蒸気機関車である。

(*注;秩父鉄道の「熊谷」から「三峰口」間(56.8 km)を3月中旬から11月まで蒸気機関車(バイオエクスプレス)が1日1回走っている。)

残念ながら桜を見ることは出来なかったが、秩父神社で日本の伝統的な婚礼を見ることができた。それは本当の結婚式だった!伝統的な式服を着る花嫁と花婿を大勢の親戚と友人が取り囲んでいた。新しい家族が生まれた瞬間をカメラマンが記念写真におさめていた。

秩父神社はすべて木製で、梁や柱には複雑な模様が刻まれている。伝統的な装飾の中に、亀、龍、虎、梟などの動物が彫り込まれている。それらはすべて江戸時代(1603年-1868年)に熟練工の手で作られたものだ。

秩父の近くには、荒川という小川の岸に、長瀬という素晴らしい村がある。長瀬はそれ自体が名所となっている。絵のように美しい岸辺の景色、ちっぽけな埠頭につながれた小舟、穏やかな空気、…。心が洗われるようだ。秩



父で半日、長瀬で二時間ぐらい、すっかり満足して東京に戻った。

高松～栗林公園と水城

都心から羽田空港へは、浜松町駅からモノレールで行くといふ。車で行くよりも時間が正確だし料金も格段に安い。しかも、列車は高架の上を走るから東京の街もよく眺めることができる。

羽田から高松まで一時間の飛行には、窓から富士山の美しい景色が見えるという素敵なおまけがついていた。いよいよ、私たちは四国の高松に到着した。

高松は香川県の県庁所在地。この地方は江戸時代には讃岐の国と呼ばれていた。四国というのは「四つの国」を意味する。この島は昔も今も讃岐（香川県）、伊予（愛媛県）、阿波（徳島県）、土佐（高知県）の四つの国（県）に分かれている。日本列島の四番目に大きな島だ。面積は日本全体の5%ほどだが、そんなに小さな島ではない。

高松の名所は、讃岐高松藩主・松平氏の大名屋敷の庭園を公園にした栗林公園である。100年以上の年月をかけて作られたという六つの池と十三の築山から成る広大な回遊式庭園の中を市民は限りのない興味を持って歩き回る。公園内には四季折々の花が目を楽しませてくれる。

瀬戸内海を外堀とした水城で有名な高松城にも足を延ばしてみたい。小さいお城だが、現存する四つの櫓はすべて重要文化財。桜の季節にはたくさんの桜が咲き乱れるという。

高松の夕べは、お店とレストランで過ごすといいだろう。この地の名物は「讃岐うどん」だが、もちろん新鮮な海の幸を味わうチャンスも忘れてはならない。

琴平～785段の石段は歩いて上ろう

琴平への旅行の第一歩は、高松の中心に位置する「琴電」鉄道の駅から始まった。ほとんど玩具のような小さな駅だ。ここから30分ごとに4つの車両からなる電車が島の奥に向かって出発する。旅行者と巡礼者だけが琴電鉄道に乗るわけではない。高松とその郊外の住人、青い制服を着た学生たち、綺麗好きなお年寄り、様々な人々がこの鉄道を生活の一部として利用している。親切な係員は、すべての車両が終点まで行くわけではないので、琴平に行くには隣の車両に移らなければなら



いと説明してくれた。日本語がわからなくても理解できるほど、丁寧に教えてくれた。

琴平の名所は、旅人や船乗りの守護神である金毘羅という鬼神をまつた金刀比羅宮である。なぜ船乗りの神社が島の奥の高い山に位置するのか少しわかりにくい、昔はこの山の麓まで瀬戸内海が切れ込んでいたという。神社にお参りする人は誰でも785段の石段を上らなければならない。しかもそれでもまだ半分。本宮の上の奥社まで上ると石段の総数は1368段にもなる。私たちがお参りしたときは霞に似たような小雨が静かに降っていたが、天気の良いければはるか遠くまで美しい眺望が広がっていただろう。帰り道は、文化財の資料館やたくさんの土産物屋さんを楽しむことができる。



琴平の駅に戻った。迷うことはあり得ない。日本語があまり分らない者でも理解できる地図と表示板がある。金比羅様も守ってくれる。琴平からJR電車で伊予の国（愛媛県）の首都、松山をめざす。

松山～温泉と文学の町

松山市は温泉と文学の町、瀬戸内海のリゾートだ。

松山のタクシードライバーは、十分にわが町を愛する「愛国者」ならぬ「愛町者」だった。「ここよりも良いところは地球上にない」というのが、市内から道後温泉まで私たちを運んでくれた彼のお話の結論だった。

道後温泉は日本の歴史上一番古いリゾートの一つであろう。道後の地名が日本の歴史文書に最初に現れたのは8世紀のことだった！

私たちは温泉街の中心近くの旅館に泊まった。ここは何でも日本的だった。温泉の熱いお湯に入り、畳敷きの伝統的な部屋で美味しい



夕食を楽しんだ。夕食後まだ元気があれば、浴衣、鞆、風呂敷、小間物、土産物などの店が並んでいる近くの市場に出かけるのもよい。ホテル（旅館）の浴衣を着て、裸足に下駄を履いて、三月の寒さの中に飛び出すのは、温泉町ならではの特別なスタイルといわれる。

温泉には朝でも入れる。朝風呂を浴びて、朝ごはんを食べ終わったら、少し散歩に出かける。道後温泉の古い

建物の間を歩き回ったら綺麗な公園に出る。小道を歩いて丘の上に上ると松山の見事な全景が見える。公園のそばに「チンチン電車」と呼ばれる路面電車の終点（もしくは始点）がある。「チンチン電車」は松山で一番人気のある交通機関である。ドイツのミュンヘンで百年以上も前に作られた電車が、まだ元気に町の中を走り回っている。停留場の近くに松山城のある山まで上るケーブルカーの駅がある。18世紀初めに建てられた松山城はエレガントな白黒のお城だ。松山城は、中世日本の建築工学のレベルの高さを証明している。この城が今日まで生き残った理由は、1868年の明治維新の際に、藩主の松平氏が旧勢力（徳川幕府）に組みせず、新政府にいち早く恭順したからである。



道後温泉には2泊した。松山は文学の町だ。近代日本語を確立したと言われる明治の文豪・夏目漱石と、俳句・短歌の革新を通じて物事をありのままとらえ表現する写実主義を推進した正岡子規で有名だ。この二人は例えて言えばロシアのプーシキンのような存在だ。二人の文学の足跡をめぐり、古い町並を散歩し、旅館に戻ったら温泉でリラックスする。一日の終わりは旅館の夕食だ。伝統的な日本料理の多様性にはいつも驚かされる。そして寝る前にまたお風呂…。

瀬戸内海の島、大三島に渡る

出発はいつも寂しい。もう一度お風呂に入りたいけど、出発しなければならない。朝早くから開いている市場で松山名物のお菓子と漬物を買ってから出かける。

私たちは「チンチン電車」に乗って松山駅まで出た。松山から瀬戸内海に面した今治市に向かい、今治から瀬戸内海



の島々を経由して尾道市に向かうバスに乗る。最初の停車は大三島。ここには、日本の国宝級の刀剣のほとんどが保存されている大山祇神社がある。その傑作の数々は特別な博物館で展示されている。神社には樹齢260年という大きな樺が2本そびえ立っているが、神社の周りとはごく普通の田舎である。民家や菜園

があり、島中にオレンジの木が植えられている。静けさと安らかさ、島に植わっている樹木のやさしさが大三島の思い出である。

因島を経由して尾道に向かう

さて、これから本州の尾道市に行かなければならない。大三島から尾道市に直行するバスはなさそうだが、でも、冒険がないと本物の旅行ではない。田舎のバスで高速道路端の停留場まで戻って、現地の人に聞いたなら因島という島に行き、乗り換えるしかないらしい。因島は昔この島を根城にした海賊（村上水軍）の島だ。しかし、今回はこの島をゆっくりと見る時間はない。美しい瀬戸内海の景色を見ながら、島から島へと渡り尾道にたどり着いた。ホテルで一泊して翌朝は尾道の市内を歩く。

尾道市は、四国の対岸、日本の主要な島である本州に位置する。古い町の中心部は狭く、駅といくつかのホテル、海辺の坂道にへばりつくように立っている家だけである。町を見下ろす丘の上に千光寺公園がある。頂の上にはケーブルカーである。日本人の旅行者たちは私たちがモスクワから来たとわかって「ロシアはとても寒いでしょう」と話しかけてくれるが、でも、ここもあまり暖かくない。雪が降るほど寒い



と思ったら、本当に雪が降り出した！にもかかわらず、ぼたん雪にみんなが喜んでいる。本当に綺麗。尾道の港、遠い島々、民家とお寺の屋根、ばら色の花が咲く樹木と本物の雪！熱燗を飲めば温まる。

お土産の売店には、「桜尾道」という香水を売っている。「古い町並み、狭い通り、心温める風景が見



える尾道の無数の小道」と瓶に書いてある。「私たちの町の一番素敵どころ、千光寺公園に咲く桜の香りが長く香ります」。何とiroんなものを一本の瓶に入れるのだろう。

尾道もまた「文学の町」だ。昭和初期から第二次大戦後まで活躍した女性文学者・林芙美子がこの町で青年期を過ごした。千光寺から下の街に続く道には詩や歌が刻まれた石碑が立ち「文学の小道」と呼ばれている。その小道を歩いたら、綺麗な水の流れている運河に沿って川岸通りに行ける。川岸通りには釣ったばかりの魚を料理して出してくれるおいしいレストランがある。海からとってきたばかりの魚のさしみは何と美味しいだろう。

宮島・広島から岩国にも足を延ばす

大三島と尾道の静けさの後で、電車で到着した広島町はとて大きくうるさい音に溢れていた。でも、それについては考えないことにした。明日は「神の島」、宮島への観光が待っている。

私たちの今回の旅行の主な目的の一つは、自分の目で厳島神社の鳥居をみることだった。この鳥居の景色は、日本三景の一つであり、ユネスコの世界遺産となっている。



広島駅から宮島口駅まで約40分、そこから宮島へフェリーで10分。フェリーの上からも素晴らしい景色が見えるが、そのときから目は何回も何回も水面の上に輝く赤い鳥居を見返すのである。宮島では言葉はあまり役に立たない。皆さんも是非自分の目で見てほしい。

電車で広島に戻った。原爆ドームと平和公園を訪れる時間はたっぷりある。駅からトラム(路面電車)で行ける。平和公園は子供のころから知っていた。1945年8月6日に広島



に落とされた原爆の悲劇を象徴する建物(原爆ドーム)の写真は記憶に焼き付いている。永遠の火、被爆症で亡くなった女の子の像、彼女が作り終えられなかった千羽鶴も何度も写真で見たことがあるのだが、実際に見る印象はもっともっと深く重く心の中に焼きついた。

その日の終わりに、日本の知人に会って、広島スタイルの夕飯を食べた。「お好み焼き(広島焼き)」という美味しいソースがついた麺とシーフードのパンケーキだ。言葉にすると「好きなものを焼ける」というその料理の作り方を最初から最後まで観察した。コック長の調理の速さと客の多さで、お好み焼きが広島市民に本当に人気のある料理である事がわかった。ただし、コーヒーは別の喫茶店で飲む事になった。



知人の話で、広島の近くに岩国という『錦帯橋』という古い橋で有名な素敵な町があるということを知った。その瞬間に私たちの広島滞在の最後の日の予定も決まった。広島から電車に乗って約一時間。1673年に作られた木造の橋を見

た。しかし、この橋は侍だけのためのもので、普通の人はその橋を通ることできず、小船で川を渡らなければならなかったという。美しい橋に隠された日本の歴史を知る。

そして、飛行機で広島から東京へ。数日後には東京からモスクワへ。日本の旅の

思い出は、数々の印象深い景色とともに今も私の脳裏に浮かんでくる。

(*オリガさんは2007年3月2日から15日まで、友人とともに日本を旅行しました。)



ЯПОНСКИЙ ЯЗЫК
Вводный и начальный курсы в центре Токио
Преподавание на русском языке!
16 Октября
Второй семестр
начинается!!
~10月16日(火) 日本語講座2学期 開講!~



在日のロシア人(ロシア語圏出身者)のための日本語講座が1学期に引き続きスタートします!

クラス:入門クラス / 初級クラス

新学期:各クラス 10月16日(火)~12月14日(金)までの全17回

授業料:各クラス 51,000円(17回) 1授業 3,000円

授業日:毎週火曜・金曜の週2回(祝日は休講)

授業時間:1授業 90分

初級クラス 13:30-15:00

入門クラス 16:00-17:30

会場:ロシア情報センター(東京・四谷 小島ビル3階)

詳細は JIC までお問合せ下さい。TEL:03-3355-7294

За дополнительной информацией обращается
ТЕЛ:03-3355-7294

ロシア人のための日本語講座

訪日ロシア人・ウクライナ人珍客事件簿★

日本人の海外旅行好きもさることながら、ロシア・ウクライナでも今、日本旅行が人気です。彼らの行く先は他の外国人観光客と同じように、東京～箱根～京都～奈良～大阪が主流なのですが、ここではちょっと変わったお客さま方を紹介します。

FILE-1

2007年7月

ロシアの日本料理レストランのチェーン店
「YAKITORIYA」のシェフさんら14名の日本料理修行ツアー！



東京すしアカデミーという
お寿司の学校で握り寿司や

巻き寿司などを体験！東京すしアカデミーでは主に英語圏の修行者？さんが多いそうで、ロシアからやってきたのは初めてだったそうです。みんな真面目に楽しくレッスンを受けることができました^v。

FILE-2

2007年7月

武道マニア集団来日！

ウクライナから現地スポーツクラブの会員を集めた日本の武道を体験するツアーがありました。合気道・剣道・居合道・柔道などの道場めぐりをした後は、自ら滝に打たれに。滝に打たれているところは有料でDVDに撮ってもらえるとのこと。お客さんも大満足でした！



FILE-3

2007年6月

お伊勢さんのお木曳きツアー



「お木曳き」とは、伊勢神宮にて20年に1度の神社の建て直しに使われる大木を台車に乗せ、町中を引いて回るといふ神聖な行事。このようなまれなイベントも見逃さないロシア人！もちろん参加者は神社や神道とは無縁の一般観光客。旅行者の中でなぜか地下足袋がブームに！？

FILE-4

2005年11月

お寿司を食べに
ちょっと東京まで・・・

モスクワから若い男女(25歳と19歳)がパパの自家用ジェット機で成田空港に到着したのは夕方17時。そのままリムジンで銀座の某高級寿司屋に直行。お店を1000万円で2時間貸切に・・・。おなかいっぱい満足したのか、そのまま成田空港へ戻り、ジェット機で帰国しました。



FILE-5

2006年10月

二本松市 菊祭ツアー！

ウクライナから福島県二本松市の菊祭を観に来るツアーを催行！二本松の菊祭に関する情報をいったいどこから仕入れたんだろうか？

(JIC 東京 鈴木要子)

アレクサンドル・ メルニコフ ピアノ・リサイタル

日時:2007年10月16日(火)

19:00 開演

会場:東京オペラシティ

コンサートホール

料金:S席5,000円 A席4,000円

B席3,000円 C席2,000円他

詳細は、ジャパン・アーツのHP

<http://www.japanarts.co.jp/> をご覧下さい。～他、日本各地で公演が
あります。

◆10月14日(日)

オーチャードホール

◆10月18日(木)

・19日(金)東京オ

ペラシティコンサート

ホール ◆10月20

日(土)倉敷・大原美術

◆10月21日(日)大阪・

フェニックスホール

セルゲイ・ナカリヤコフ トランペット・リサイタル

日時:2007年10月27日(土) 14:00～

料金:A席5,000円 B席4,000円 C席3,000円

会場:大阪 ザ・シンフォニーホール

出演:[トランペット/フリューゲルホルン]

セルゲイ・ナカリヤコフ

[ピアノ]マリア・ミーロヴィッチ

詳細は、ザ・シンフォニーホールのHP

<http://www.asahi.co.jp/symphony/>

でご確認下さい!



芸術の秋を

楽しみましょう!



ワレリー・ゲルギエフ指揮

マリンスキー歌劇場管弦楽団

◆11月4日(日)14:00～ 横浜みなとみらい

ホール ◆11月5日(月)19:00～ サントリー

ホール ◆11月6日(火)愛知県劇術劇場コ

ンサートホール ◆11月7日(水)熊本県立

劇場コンサートホール ◆11月8日(木)

福岡シンフォニーホール ◆11月11日

(日)所沢市民文化センターミュージズ

◆11月13日(火)札幌コンサートホー

ル Kitara ◆11月14日(水)サントリー

ホール ◆11月16日(金)大阪・フェス

ティバルホール ◆11月17日(土)出雲

市民会館 ◆11月18日(日)NHKホール

料金:会場により異なります。

詳細は、ジャパン・アーツのHP

<http://www.japanarts.co.jp/>

をご覧下さい。



S・Ya・マルシャーク 生誕120年記念 コミサルジェフスカヤ記念劇場 「森は生きている」公演

日時:2007年10月13～16日

会場:昭和女子大学

人見記念講堂(三軒茶屋)

料金:S席7,000円 A席6,000円

B席4,000円 他

お問合せ:チケットスペース

TEL:03-3234-9999

<http://www.ints.co.jp/>

国立サンクトペテルブルグ・ アカデミー・バレエ日本公演2007

◆日時:10月19日(金)

19:00 開演 会場:

相模原 杜のホ

ールはしもと

演目:ガラ公演

◆日時:11月4

日(日)15:30

開演 会場:足利

市民会館 演目:「白

鳥の湖」ほか。

詳細は、アルス東京のHP

<http://www.arstokyo.co.jp/>

をご確認下さい。



マリンスキー・プラス マリンスキー歌劇場管弦楽団プラス・アンサンブル

日時:2007年11月1日(木)19:00 開演

会場:アクロス福岡シンフォニーホール

料金:S席3,000円 A席2,000円 他

日時:2007年11月2日(金)19:00 開演

会場:すみだトリフォニーホール

料金:S席4,000円 A席3,000円 他

詳細は、ジャパン・アーツのHP <http://www.japanarts.co.jp/>

または各会場のHPをご覧下さい。

「ロシアの大地アンサンブル」日本公演 -ロシア連邦政府内務省合唱団-

日程:10月8日(月・祝)千葉県文化会館 10月9日(火)埼玉会館 10

月10日(水)五反田ゆうぽうと 10月11日(木)メルパルク東京

チケット等詳細は、各会場または、ロシア文化フェスティバル 2007 IN JAPAN

日本組織委員会 e-mail: Russian-culture@view.ocn.ne.jp までお問合せ下

さい。



スタニスラフスキー&ネミロヴィチ=ダンチェンコ記念 国立モスクワ音楽劇場バレエ団来日決定！ ～スタニスラフスキー・メソッドをご存知ですか？～

ちょっとドキッとするこの一文。本物のドラマティックバレエとはいかなるものかを問いかけながら国立モスクワ音楽劇場バレエ団が日本公演にやってきます。

1972年の初来日以来、コンスタントに日本全国で公演し話題を呼んだ、国立モスクワ音楽劇場バレエ団。今回なんと、7年ぶりの日本公演が決定しました！

演劇界の巨匠スタニスラフスキーと劇作家ネミロヴィチ=ダンチェンコの名を受け継ぐ劇場はオペラとバレエ劇場でありながら、アーティストの育成にスタニスラフスキー・システムをとりいれ、バレエダンサーは「踊る役者」であるべきと、独自のスタイルでその歴史を歩んできました。このバレエ団の特徴は演技力とドラマティックな演出にあります。来日公演の演目は、クリスマスシーズンにロシアからの贈り物「くるみ割り人形」と、バレエの代名詞ともいえる「白鳥の湖」です。

「くるみ割り人形」は、ロシアでは年末からクリスマス(ロシアのクリスマスは1月7日)にかけてもっともポピュラーな作品です。

少女マーシャがクリスマスの夜に、ちょっと不思議なおじさんドロツセルマイヤーからプレゼントされたくるみ割り人形を抱き眠りにつくと、ねずみの大群が現れくるみ割り人形と戦いに!!マーシャの投げた靴がねずみの王様にあたり、危機一髪助かると・・・なんと、くるみ割り人形が王子様になり、マーシャを夢の世界へと連れて行くのでした。

とても夢のある、心があったかくなるお話です。モスクワ音楽劇場のワイノーネン版「くるみ割り人形」の舞台は、2004年に舞台美術と衣装が一新され、白を基調としながら、おとぎの国では色とりどりの人形たちが出てくるなど、繊細に見事にクリスマスの華やかな雰囲気を表しています。また、このバレエ団ならではの、舞台上のダンサー達の生き生きとした表情をみていると、一瞬で物語の中に引き込まれてしまいます。



モスクワ音楽劇場の「白鳥の湖」は世界で最も優れた演出といわれるブルメイステル版です。

湖のほとりで、悪魔によって白鳥に姿を変えられた姫オデットと出会った王子はひと目で恋に落ちる。オデットに真の愛を誓う者が現れたとき、呪いが解けると知った王子はオデットを永遠に愛することを誓い、宮殿へと戻る。王子はお后選定の舞踏会で悪魔の策略により、オデットにそっくりな娘オディールに結婚を誓ってしまう。歓喜の高笑いと共に消える悪魔とオディール。過ちに気づいた王子はオデットに許しを請い、悪魔を倒すために湖へと急ぐ

1930年から約40年間にわたり、バレエ団の芸術監督としてスタニスラフスキーのダンサーを育てたブルメイステルは、自身の演出で物語に一貫性を持たせ、白鳥の姫オデットと王子の心の動きや感情を見事に表現しています。2幕と4幕は湖のほとりの白鳥の世界。白いチュチュに白鳥の羽、水をかくしぐさや腕の動きは、まるで本当の鳥の羽ばたきの



よう。また、3幕の悪魔の巧妙な罠。特に、ブルメイステル版ではこの3幕の構成が優れていて、次から次へと登場する悪魔の手下達の迫力ある踊りには息を飲むばかり。

バレエの本場ロシアからの今年最後の贈り物、是非この機会にお楽しみ下さい。JICも公演をお手伝いしています！

スタニスラフスキー&ネミロヴィチ=ダンチェンコ記念
国立モスクワ音楽劇場バレエ
管弦楽：国立モスクワ音楽劇場管弦楽団

2007年12月22日(土)～24日(月)

🎭「くるみ割り人形」🎭

2007年12月27日(木)～30日(日)

🎭「白鳥の湖」🎭

東京国際フォーラム ホールC

チケット：S席 ¥15,000、A席 ¥11,000

B席 ¥9,000、C席 ¥5,000

公式 HP: <http://www.mmtb.jp/>

今なら JIC では S 席 ¥1,000 引きにてお取り扱い中！

お問合せ下さい！(03-3355-7287)

舞台芸術の世界

～ディアギレフのロシアバレエと舞台デザイン～



9月17日(月・祝)まで、東京都庭園美術館(目黒)で「舞台芸術の世界」展という展覧会が開かれていました。カリスマ的なプロデューサーでロシア人貴族のセルゲイ・ディアギレフが率いたロシアバレエ団(バレエ・リュス)は、1909年に西欧で初公演を行い、ニジンスキー、アンナ・パブロワなど有名なダンサー達を数多く世に送り出しました。同時に、それまで職人が行ってきた舞台美術の仕事を一覧の画家が担当したバレエ・リュスの革新的なデザインは、人々に大きな衝撃を与えました。本展ではバレエ・リュスに始まり、その影響を受けた様々な舞台芸術の世界を、サンクトペテルブルク、パリ、ロンドン、ニューヨーク、そして日本国内からも集められた舞台衣装、スケッチ、ポスター、写真、映像などを用いて紹介します。特に実際に使用された『ペトルーシュカ』『火の鳥』の衣装は必見でしょう。この展覧会の大きな特徴は、これまで西欧からの視点で捉えられがちだったバレエ・リュスの芸術を、ロシアの側から見直している点です。20

世紀の舞台美術の歴史を変えたロシア人画家達の芸術とその遺産を十分堪能して下さい。

本展は釧路、京都、東京での巡回をすでに終わりました。9月29日～10月28日までの青森県立美術館が最後の開催場所となります。是非お見逃しなく。

(平野 恵美子)

開催場所: 青森県立美術館

開催期間: 2007年9月29日(土)～10月28日(日)

開室時間: 9:30～17:00(入室は16:30まで)

(9月29、30日は18:00まで(入室は17:30まで))

休室日: 会期中無休

<http://www.aomori-museum.jp/ja/exhibition/10/>

お問合せは、舞台芸術の世界展実行委員会(青森県立美術館内)まで。TEL:017-783-5241、783-3000

JICモスクワ通信vol.7★

一足お先に秋がきました

皆さん、こんにちは。

いよいよ秋に入りましたね。東京は今でも30度くらいで夏のような天気が続いていますが、モスクワは涼しくなって、雨も多くなり、葉っぱも黄色くなってきました。

毎年のように、9月の最初の土曜・日曜はモスクワの日を祝います。今年はモスクワ市創立860周年です。そんな中、地下鉄の新しい駅のオープニングセレモニーがありました。それは、リュブリンスカヤ線(俗にいう10号線、きみどりの線)のトルブナヤ駅です。駅の出入り口はトルブナヤ広場に面しています。「トルブナヤ広場」は日本語で「水道管広場」を意味します。昔はそこにモスクワ川の支流であるネグリンナヤ川が流れていました。19世紀に入ると、モスクワ中心部を横断する川のせいでよく洪水が起こっていたので、ネグリンナヤ川は1819年に3キロぐらいの長さの水道管に生まれ変わ

りました。そして、もともと川があったところに、ツヴェトノイ並木道(花市場並木道)、アレクサンドル公園、劇場広場、革命広場などを作りました。今



年8月30日、その広場に面した新しい駅ができました。モスクワの日に向けて新しい駅を建造するという伝統がここ何年か続いてきました。

それからもうひとつ。毎年8月末から9月にかけてモスクワでは蜂蜜見本市が行われています。いつもはコロメンスコエ公園で行われていましたが、今年からツアリツィノ公園の入り口近くで行われることになりました。先週の日曜日にその見本市に行ってきました。全ロシアからだけでなく、キルギスなど隣国からの蜂蜜も紹介されています。特に人気なのは、北コーカサスの山蜂蜜とロストフ州、クラスノダール州の蜂蜜です。売店数も多く、売り子さんの前にいろんな種類の蜂蜜が入っている小さな皿が用意されており、食べてみたいものは試食できます。アカシア蜂蜜とメリッサはとても美味しいです。その2つを450グラムずつ買って、家で紅茶に入れて飲みました。外で冷たい9月の小雨が降っているときに、家で甘いアカシア蜂蜜の入っている温かい紅茶を飲むのはとても幸せです。(JICモスクワ トカチェンコ・ドミトリー)



阿部昇吉先生のロシア文学カフェ



～ロシア情報センター 連続講座～

前号で第1回のご報告をしましたJIC連続講座「ロシア文学カフェ」(講師:阿部昇吉先生)、その後も順調に回を重ね、8月11日(土)には無事最終回を迎えることができました。第1回のプーシキンに続き、ゴーゴリ、ツルゲーネフ、ドストエフスキー、トルストイ、チャーホフ…と6人の作家およびその作品について、作品や作家に影響を与えた19世紀ロシアの歴史的な出来事・社会的なムードについても紹介していただきながら、毎回じっくり味わってきました。

◇ロシア文学カフェ テーマ◇

第1回 プーシキン「文学の誕生」

第2回 ゴーゴリ「狂気の彼方に」

第3回 ツルゲーネフ「ロシアの民衆」

第4回 ドストエフスキー「叛逆のセレモニー」

第5回 トルストイ「鉄人よ、いずこへ」

第6回 チャーホフ「恋と愛のはざ間で」



阿部先生の、わかりやすいけれど内容豊かなお話(講義)に、リピーター参加者の多かったこの連続講座ですが、その中でも全講座欠かさずご出席いただいた参加者の方からご感想をいただきました。

* * * * *

ロシア文学とタバコの違い

吉田清純(よしだきよすみ・仮名)

温かくて親しみやすいイメージをロシア文学に対し抱いている人が今の日本にはたして何人いるだろうか。いるとしたら変わり者だ。そんなふうに思っていた。暗くて重くておっかない物語、複雑すぎて覚えられない名前の登場人物、しかも情け容赦のない非常識な長さ。そのうえ、読んだからには人生が変わるようなあっぱれな感想を持たなくてはならないとも聞いた。これはタイヘンだ。読んだだけで人生が変わってしまうような本を書くことをロシア人は許されているのか？さらにはそんなキケンな本を人に薦めるなんて大胆なことをしてもいいのか？ そんな無茶をしても大丈夫か？ 君子でなくとも、危うきには近づかないほうが無難ではないのか？でもその一方で、ロシア文学はすごい評判だ。ロシア文学と葉巻は一度はまったらやめられないと友人に聞いたこともある。この比喻には感心しなかったが、とにかくメチャメチャ面白いらしい。ロシア文学ファンの友人に言わせると、ロシアの文学を読みだすと他の国の小説なんか小粒でチャチだと

いうことになるのだそうだ。人殺しだの、貧乏だの、流刑だの悲惨な話題が次々に出てくるのにそれが面白くてたまらなくなり、豪胆にもシェイクスピアやバルザックを小物扱

いするロシア文学ファンの心理はどこからくるのか？ うかつにそんなものを読んでうっかり悟りでも開いてしまったら、どうしてくれるのだ？ 怖いもの見たさの気持ちは募るが、自分ひとりでロシア文学に近づくのはおっかない。いきなりあんな長い小説を読んだら挫折しそうな気もするし、と考えあぐねているとき、JICでロシア文学についてプロの文学研究者が易しくレクチャーしてくれる講座があると聞いた。これは行くしかない。阿部昇吉先生の6回講座「ロシア文学カフェ」には、何の予備知識もなく、実はけっこう気楽な感じで参加した。行ってみると毎回一人の作家に焦点を当て、人物と作品について解説してくれるという。阿部先生はとても優しい先生で気さくに声をかけてくださる方でホッとしたが、とりあげる作家のラインアップはスゴかった。プーシキン、ゴーゴリ、ツルゲーネフ、ドストエフスキー、トルストイ、チャーホフだ。この6人だけで小さな図書館ができそうだ。人生が6回変わりそうだ。前途に大いなる不安を感じたが、先生の優しさに背中を押され手を引かれ、詳しい解説や魅力的な作品朗読を聴いて出席者どうして感想を言い合った。

阿部先生の講演で昔のロシア人たちの想いを知り、作家の人生を教えてもらおうと、出席者たちの発言もどんどん活発になった。回を追うごとに楽しくなってきた。タバコは吸わないが、友人が言っていた「葉巻」とはこんな感じか？ 初めは葉巻の端の切り方もわからず、くわえ方もごちない。吸うというより吹かしておっかなびっくりでカッコつけているだけのビギナーが、本数を重ねるうちにいつか葉巻の芯に封じ込められた味わいに気づく。先端にとる火は実は大切ではない。一定した形を持たず、その場だけの一度限りのゆらめきを見せる紫煙とその香りにこそ葉巻の魅力がある。ロシアの小説のように。

意外なことに小説では筋書き自体はそんなに重要ではない。ストーリーを追うのではない。圧倒的な運命の中で哀れに揺さぶられながらも懸命に生きる登場人物たちと、その物語全体から立ち上がる生への希求こそがロシア文学の味わいなのだ。物語の芯には、祈りにも似た願いがこもっているのだ。運命に翻弄されてしまう無力な人間だが、それでも人は生きる。自分だけの願いを持って。たとえそれが叶わなくとも、その願いだけが自分自身の人生を忘れ難いものにするのだ。ロシア文学にはサクセス・ストーリーは極端に少ない。恋愛は片想いだし、事業は失敗するし、貴族は没落する。博打をしてもほぼ負ける。いいことなんてほとんど起こらない。しかし破綻した試みであっても、鮮やかな生の軌跡を残すと

きが人生には必ずある。人間が持つ愛憎の深淵を描くロシア文学はそれを見逃さない。しがたない九等官(薄給の下級公務員)の人生にも侵しがたい尊厳の輝きがあり、それが人の胸を打つのだ。人生は、「生きる」ということを体験するだけです。十分に十分な価値があるとでも言いたげではないか。どんな逆境にあっても、それでも人生は生きるに値するのである、と北国の作家たちは教えてくれるのだ。

うーん、以前には絶対思いつかなかった感想だ。こんなことを書いている自分が信じられない。でも頑張ってカッコつけているわけではないのだ。つい思わず人を本気にさせてしまう引力が、ロシア文学には確かにあるのだ。その証拠に「ロシア文学カフェ」に集まった出席者たちは、そこで知り合ったばかりだということにとても誠実に互いの想いを述べ合っていた。長年付き合っている家族や友人にだって、こんな大まじめに人生論を話したりはしないのに。皆、真剣に小説を読むという営みの魅力に感動していたんだ。

やっぱりロシア文学ってスゴかった。しかもロシア文学はタバコと違って、あなたの健康を害する恐れはないのだ。これなら続けても大丈夫。小説の長さだって問題じゃない。アメリカのテレビ映画「24」を見られる人なら、つきあえる程度の長さだ。せつかくの長編なんだから慌てることなく、むしろゆっくり読めばいい。読んだ感動は長く記憶に残り、読者の人生に織り込まれ、小説のことばが寝つきの悪い夜の話し相手になってくれるかも知れない。テレビやインターネットのような速効力を誇るメディア全盛の時代に、「遅効力」のあるロシア文学を読んでバランスをとるのもいいではないか。そう考えれば、ロシア文学ってなかなかクールじゃないですか。

別にシェイクスピアやバルザックが小物だと思えるようにはならなかったけど、友人の言っていたことは正しかったようだ。ロシアの6人の文豪たちは皆とびきりイカすオジさんたちだった。それぞれ個性的過ぎて実際につき合うのはツラそうだけど、小説を読むだけだったら、やっぱり誰かにお勧めしたい。それにしてもロシア文学って、作品も面白いが作家ももっと面白い。オヤジになるんだったら、こんなオヤジになりたい。最近、流行りの「ちょい悪オヤジ」が小物に見えてきた。

あっぱれな感想は全然持てなかったけど、たいそう勉強してぐっと成長できたような気がしている。ロシア語やロシアについての知識はないけど、日本にはいい翻訳がたくさんあることを阿部先生に教えてもらったから安心して本を手にする。自分の無知すらも一つの糧として作品を読むことも可能だと、今では思えるようになった。フランスの思想家ロラン・バルトも「叡智とは、少しばかりの知とできるだけ多くの味わいのこと」と言っているではないか。「叡智」って何だかわからないけど、これを「ロシア文学」に替えると今の実感にぴったりだ。いつも明晰なことばで美しい解説をしてくださった阿部先生と、毎回とても親切だった JIC スタッフの皆さんにありがとうございました。

* * * * *

こちらこそありがとうございました気持ちです！

吉田さんに直接お話をうかがったところ、第3回「ロシアの民衆～ツルゲーネフ～」と第4回「叛逆のセレモニー～ドストエフスキー」の2回が特に印象に残ったとのことでした。

ツルゲーネフの回では、「歌うたい」(『獵人日記』より)から、小さな村の居酒屋で歌勝負をすることになったヤーシカという芸術家でも知識人でもない貧しい紙漉き工が、人びとの魂を鷲づかみにするような、圧倒的なまでに美しい声で歌をうたい、そこに居合わせた人びとの心に尊厳に満ちた感動を与えるという場面を鑑賞し、阿部先生の解説を聞いた後で、散文詩《Русский язык(ロシア語)》が紹介されたのですが、JICスタッフによる原文での音読に「意味が十分にわからないロシア語の詩の響きが私にも間違いなく感動を与えた」とおっしゃいます。吉田さんは「歌うたい」の中で歌というものがすべてを超越した感動をもたらした場面を味わった後での詩の原語音鑑賞につながりを見出し、「文学研究者である阿部先生が凡庸な読者である私たちの意識に踏み込み、文学的衝撃を与えた瞬間」であったと感じていらっしゃるようですが、ひょっとしてこれは阿部先生ご自身も意識されなかった効果かもしれません。

またドストエフスキーの回では、「こういうテキストを読むと黙り込んでしまいますね」と阿部先生が穏やかに言って下さった場面がありましたが、そこで吉田さんは、テキストがもたらす沈黙もまた「文学の声」なのではないか、「読み込んでやる」と意気込むよりも、作品の存在感に狼狽する自分を受け容れることから文学作品との本当の対話が始まるのではないか、阿部先生は私たちに“設問に適切に答えようと焦るより、黙りこくったままでもいい”と教えてくれているのではないかと感じられたそうです(たくさんお話しいただいたご感想をものすごく端折っています。すみません)。

このようにご紹介すると、ものすごく深遠な講座だったように思われるかもしれませんが、毎回90分の講座は阿部先生のお話が楽しいだけでなく、朗読あり、映像の鑑賞もあり、参加者が意見を述べ合う時間もあり…であつという間に終わり、参加者もスタッフもドストエフスキーやトルストイの回であっても疲労感を覚えることなく、頭と心に刺激を受け、気持ちよく会場を後にしていました。

参加者の皆さんの発言が、この文学カフェの味わいをさらに深いものにして下さったということも今回の連続講座の特徴でした。多くの皆さんにお問い合わせ、ご参加いただき、ありがとうございました。

次なる講座、現在計画中です。(JIC 東京 曾根直子)



ロシア情報

テルミン奏者・佐藤沙恵さんの活動予定



テルミン・マトリョミンの奏者としてご活躍中の佐藤沙恵さんが参加されるイベントの情報です！佐藤沙恵さんのホームページはこちら→ <http://theremin-unv.com/index.html>

★「ヘリコプター音楽祭」★

日時:10月13日(土)15:00～、19:00～

10月14日(日)15:00～(開場は開演の40分前)

会場:アトリエヘリコプター

品川区東五反田 2-21-17

JR 大崎駅、または JR・都営浅草線五反田駅より

徒歩5分。キャッツシアターそば、ソニー5号館向い

入場料:前売り2,300円 / 当日2,500円

中学生以下1,000円

テルミン大学割引200円引き(前売・当日ともに)

座席:全席自由

チケットご予約:上記HPにて受付中。また電話予約も可能。

TEL:03-5468-5822(平日10:00-18:00)

★ニチェボー！な日曜日★

マトリョミンアンサンブル・ニチェボー！第1回定期演奏会

日時:2007年11月11日(日)

開場18:30、開演19:00(終演予定20:00)

会場:MUSICASA

渋谷区西原3-33-1 TEL:03-5454-0054

小田急線・東京メトロ千代田線代々木上原駅東口より
徒歩2分。

<http://www.musicasa.co.jp/>

入場料:前売り1,500円 / 当日1,800円

お問合せ・ご予約: nichebo1111@mail.goo.ne.jp

★佐藤沙恵オリジナルCD「テルミン大学」発売！★

ロシアよりペンパル募集の情報です！

名前:Makhamudov Kamil 性別:男 生まれ年:1971年

住所:ロシア・モスクワ Eメール:slon7@mail.ru

趣味:釣り、バックギャモン、旅行、柔道、料理、映画鑑賞

言語:ロシア語、フランス語、英語、日本語(4級)

図書紹介「ロシアのジョーク集」アネクドートの世界

著者はビジネスを通じて長くロシア人と関わってきた体験をもとに、ロシアのジョーク(小話)を紹介している。「ロシアのジョーク集」と聞いて、オチを理解するのがなかなか難しいのでは？と思われる方は少なくないかもしれない。

本書は、第一章 万国向け(受け)小話からはじまっている。

この第一章では会社、犯罪、夫婦の仲、セックス、家族問題などにまつわるオチの分かりやすいテーマで小話がかかれていて、すぐに読み入ってしまう。最後の第八章まで民族問題、歴史、庶民の生活、政治などにまつわる小話がわかりやすく、その背景や状況説明とともに紹介されている。とても読みやすく面白い一冊である。読み終わった後は新しい発見も多くあり、なんだかあらためてロシアを知った印象を受けた。そして、所々で著者のロシアへの愛情を感じることができた。



とにかく様々な切り口で、しかも外国人に理解するのは難しいとされる小話を通じて、これだけ分かりやすくロシアを見せてくれる本はなかなかないと思う。

著者が30年余りロシア人と付き合ってきたというのも十分納得できる。もちろんロシアを知る人にはオススメの一冊だが、むしろロシアを知らない人に「ロシアってこんな感じ」と紹介するにはうってつけの一冊であること間違いなし！

(JIC 東京 藤枝 康子)

～ユーラシア選書6～

「ロシアのジョーク集」アネクドートの世界

さとう好明 著

東洋書店 定価 1,600円+税

ロシアにお友達をつくりませんか？興味のある方は、まずはメールで連絡をとって下さいね！ロシアに友達ができると、ロシアについてもっと知りたくなるし、ロシア語の勉強も頑張りたいくなります！



第17回 創価大学創立者杯 ロシア語スピーチコンテスト



大会テーマ:『さあ伝えよう! ロシアをあなたの声で』

日時:2007年12月9日(日)午後1時開始

開場:創価大学学生ホール3階多目的ホール

後援:在日ロシア大使館

協賛:ジェーアイシー旅行センター(株)

主催:創価大学ロシア研究会



募集要項:

①エレメンタリー部門～高校生および、ロシア語学習歴2年未満の方 ②スタンダード部門～ロシア語学習歴2年以上および、エレメンタリー部門対象者でスタンダード部門を希望される方

※ただし、ロシア語圏滞在歴1年以上の方、両親がロシア語を母国語とする方、同様の原稿で他のスピーチコンテストに出場している方、最近1年以内でロシア語系スピーチコンテストにて優勝された方は除きます。

応募方法:

原稿(露文・和文のA4のワープロ打ち)と住所・氏名・年齢・職業(学校名・学年)・電話番号・ロシア語学習歴を明記の上郵送またはe-mailにて担当まで。

締め切り:2007年10月29日(月)消印有効

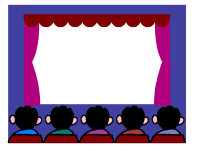
10月31日(水)必着

原稿テーマ:「あなたの伝えたいロシアは?」

担当:スピーチコンテスト実行委員長 堀越

e-mail: soka.r.supikon17@hotmail.co.jp

第58回 神戸市外国語大学語劇祭



語劇祭とは・・・

神戸市外国語大学・各学科の学生がこれまで長きにわたって開催してきた伝統あるイベントです。それぞれの専攻語学である英語、中国語、スペイン語、ロシア語による演劇を毎年一度、学生だけでなく、近隣地域にお住まいの方々にも楽しんでいただけるよう企画されています。語劇祭では最優秀劇団賞をはじめとして、男優賞、女優賞、その他字幕や衣装など様々な分野で競い合います。演目の内容も、コメディ、サスペンス、悲劇・・・と多岐にわたっており、毎年色々な劇を見せてくれます。

今年のロシア語劇団の演目はエヴゲニー・シュヴァルツ作の「影 ～三幕のお伽噺～」です。JICも毎年のように観に行っています。学生さんたちの演技力とロシア語力は本当にすばらしいですよ。字幕もありますので、どなたでも楽しむことができます。

今年も頑張ってください!

<第58回神戸市外国語大学語劇祭>

日時:2007年12月15日(土)、16日(日)

会場:神戸アートビレッジセンター(KAVC)

チケットについてなど詳細は近日中に決定されます。また、ロシア語劇団の公演は15日か16日のいずれか1日に行われます。日程・時間を含め詳しくは、次号のインフォメーションにてお知らせ致します!



JICのホームページに エンターテインメントのページが仲間入り!



ロシア、特にモスクワやサンクト・ペテルブルグを訪れたいと思っておられる方なら、一度は本場で鑑賞したいバレエやオペラ。

「自分が旅行している間に観られる演目は何?」

「チケットはどうやって手に入れるの?」

「ロシアの劇場のホームページは、ロシア語か英語でしか読めないのが難しい」

そんな方のためにととても便利なページを作りました。情報は随時更新されます。ぜひご活用下さい!

アドレスはこちら・・・

<http://www.jic-web.co.jp/pa/>

エンターテインメントページとは??

- バレエ、オペラ、コンサート、サーカス、フォークショーの各エンターテインメントについて、その特徴を紹介。また、モスクワとサンクト・ペテルブルグのどこで楽しめるか、主な劇場をご案内しています。
- バレエとオペラについては、主な劇場の公演予定をお調べいただけます。
- バレエ辞典・オペラ辞典をご用意。
各演目の英語名、ロシア語名、日本語訳、物語のあらすじ、作曲家、おおよその上演時間までご紹介しています。
- チケットの購入方法を簡単にご案内しています。



このページで自分の観たい演目を調べて、ぜひロシアでバレエやオペラを存分にお楽しみ下さい!

ーJICロシア語セミナー2007ー

ロシア語を勉強する君へ

講師:徳永晴美 先生(上智大学教授)

来る11月17日(土)、上智大学教授であり、ロシア語同時通訳のパイオニア、かつ新聞記者と、多彩な顔を持つ徳永晴美先生を講師にお招きし、JIC ロシア語セミナーを行います。徳永先生には、これから本格的にロシア語を勉強しようとしておられる方々に、自らの留学体験も含めて、ロシア語学習の「極意」についてお話いただく予定です。

講演会の後には、JIC のロシア語講座、ロシア留学について JIC スタッフが説明いたします。ご希望の方は、個別相談にも応じます。

ロシア語学習者、ロシア語留学をお考えの方はもちろんのこと、ロシアに興味のある方のご参加をお待ちいたしております！

日時:11月17日(土) 13:30 - 17:00

プログラム:

13:30 - 15:00 講演会「ロシア語を勉強する君へ」

講師:徳永晴美先生

15:00 - 15:15 休憩

15:15 - 17:00 ロシア語講座・ロシア留学に関する

説明会および個別相談会

会場:住友不動産新宿オークタワー 1階会議室 Room2

(新宿区西新宿 6-8-1)

最寄駅:「新宿」駅(JR 線他)西口より徒歩 9 分

「西新宿」駅(丸ノ内線)2 番出口より徒歩 3 分

参加費:1,000 円(当日受付にてお支払い下さい)

お申込:JIC 国際親善交流センターまで Eメール、ファックスまたはお電話でお申込下さい。Eメールでお申し込みの際には、件名を「JIC ロシア語セミナー 参加希望」としてお送り下さい。お申し込みの際、①お名前 ②電話番号、Eメールアドレス ③ご職業(学校名または会社名) ④留学・講座に関する個別相談をご希望の方はその旨もお知らせ下さい。

お申込締切:11月15日(木)

ただし定員になり次第、締め切ります。

お問合せ・お申込は・・・

JIC 国際親善交流センター

TEL:03-3355-7287 FAX:03-3355-7285

E-mail: jictokyo@jic-web.co.jp

HP: http://www.jic-web.co.jp



大阪JICフェア

在阪のロシア人(旧ソ連圏)の方々や、ロシアファンの日本人がたくさん集まる毎年恒例の JIC フェア。情報交換の場として、また友達をつくる場としてご活用下さい。ロシア語を学んでいる方にとっては、授業や教室では使わない日常のロシア語を話してみるチャンスです。持ち寄り式のパーティーなので、お一人一品(食べ物・飲み物など)をお持ち下さい。JIC スタッフによる留学・旅行・ロシア語講座の相談コーナーもあります。是非この機会をお見逃しなく！平日は忙しくて JIC の営業時間になかなかオフィスに来られない方にもおすすめです。



日時:12月16日(日) 13:00~17:00

会場:ドーンセンター(大阪・天満橋) 5 階

参加費:1,000 円(当日受付にてお支払い下さい)

お申込:12月14日(金) 締切り 電話・ファックス・メールなどで JIC 大阪オフィスまでお申込ください。

TEL:06-6944-2315 FAX:06-6944-2318

E-mail: jicosaka@jic-web.co.jp



ロシア長期留学4月生・募集中

【期間】2008年4月より10ヶ月

【締切】2008年1月31日(木)

サンクトペテルブルク国立大学 \$ 4210(予価 授業料10ヶ月)

ウラジオストク極東大学 \$ 2800(予価 授業料10ヶ月)

* 上記の金額以外に別途、寮費・手配料・渡航費用・ビザ代金・取得手数料などががかかります。

ロシア語個人研修(随時募集)

* モスクワ大学 2週間~長期(大学寮1人部屋)

* モスクワ・ダリパス社 1週間~1ヶ月(ホームステイ3食付)

* G&R インターナショナル 1週間~長期

(ホームステイ2食付 / 大学寮2人部屋)

* モスクワ・ペテルブルグ リデン&デンツ 2週間~長期

(ホームステイ2食付 ほか)

* ペテルブルグ・パートナー社 1週間~1ヶ月(ホームステイ3食付)

* ペテルブルグ文化大学 1週間~長期

(ホームステイ2食付 / 大学寮)

* ペテルブルグ デルジャーヴィン・インスティテュート

1週間~長期 (ホームステイ2食付 ほか)

* ウラジオストク極東大学 1週間~長期(大学寮 / ホームステイ)

東京

JICのロシア語講座

東京クラス・大阪クラスとも 10月15日(月)より順次開講!

大阪

★全7講座開講します★

入門Ⅰ(火曜 19:00 - 20:30) 10/23より開始

初心者を対象にアルファベットからロシア文法の基礎を勉強します。前期からの続きです。

入門Ⅱ(月曜 18:30 - 20:00) 10/22より開始

ロシア語文法を勉強しなおしたい人向けです。文法のおさらいをしましょう。

初級(月曜 19:00 - 20:30) 10/15より開始

ロシア語のやさしい読み物を少しずつ読みながら、ロシア語での会話にも慣れていきましょう。

中級(水曜 19:00 - 20:30) 10/17より開始

文法の教科書を使って、身近な出来事などを題材に、ロシア語の表現力を高めていきます。

上級講読(木曜 18:50 - 20:20) 10/18より開始

小説を中心に読んでいきます。楽しみながら語学力をアップさせましょう。

上級会話(金曜 18:30 - 20:00) 10/19より開始

新聞や物語など様々な題材を用いながら、語彙・文法を確認しつつ、積極的に会話をするクラスです。

土曜講座(土曜 12:00 - 13:30) 10/20より開始

初級から中級向けです。ビデオでロシアの街を巡りながら、街歩きで使うロシア語を勉強しましょう。

期間:10月15日(月)~2008年3月中 全18回

受講料:54,000円(学生割引、2講座同時受講割引あり)

定員:1クラス4~8名程度

お申込締切日:各クラス開始日の1週間前。

(途中参加も随時受け付けています)

会場:ロシア情報センター(東京・四谷 小島ビル3階)

お問合せ:JIC 東京 TEL:03-3355-7287

E-mail: jictokyo@jic-web.co.jp

★講師は全クラスネイティブです★

入門(火曜 19:00 - 20:30) 10/16より開始

4月開講の入門講座の続きです。アルファベットは終わり、ただいま基礎文法を勉強中です。難しいロシア語を楽しく学びましょう。

初級(木曜 19:00 - 20:30) 10/18より開始

少しロシア語をかじったけど、まだまだこれからという人向け。文法をおさらいしながら会話にもどんどんチャレンジしていきます。

中級(金曜 19:00 - 20:30) 10/19より開始

基本的な文法は一通り知っているけど、会話が不安、聴き取るのが難しい...と感じる方へ。生きたロシア語を使って会話を楽めよう授業を進めていきます。

上級(月曜 19:00 - 20:30) 10/15より開始

文法・語彙力はもちろん、会話もある程度できる人なら上級クラスがオススメです。新聞の読み方を習ったり、テーマに沿ったディスカッションをしたりします。過去に留学経験がある方でロシア語を忘れたくない方にも。

期間:10月15日(月)~2008年2月/3月 全15回

受講料:35,000円(学生割引、2講座同時受講割引あり)

定員:1クラス5~10名程度

会場:JIC 大阪オフィス(大阪・天満橋)

お問合せ:JIC 大阪 TEL:06-6944-2315

E-mail: jicosaka@jic-web.co.jp

詳細は資料をご請求下さい。東京・大阪とも無料体験レッスン(1回)可能です。自分にピッタリのクラスで学びましょう。レベルなどのご相談はお気軽に!

<注>定員に満たないクラスは、開講されない場合があります。

2008年2~3月・春のロシア語短期研修旅行

モスクワ大学ロシア語研修 & ペテルブルグ旅行

2週間のモスクワ大学でのロシア語研修と旅行がセットされた、毎年恒例のロシア語研修プランです。研修後にはサンクトペテルブルグを訪れます。ロシア語研修も観光も十分にご堪能いただけるオススメのプランです。詳細は近日発表です。まずはHPでチェック! 次号(11月号)のインフォメーションでも詳しくお知らせいたします。

1人でロシアに飛び込むのが不安な方もぜひ!!



近日発表です!

10～12月の予定

10月15日(月) JIC 東京/大阪ロシア語講座
後期スタート
10月16日(火) JIC 日本語講座 後期スタート
11月10日(土) JIC 大阪 留学相談会
11月17日(土) JIC 東京 ロシア留学セミナー
12月16日(日) JIC 大阪 ロシアフェア

最新情報、追加情報はホームページでご紹介しています♪
お問合せはお気軽にどうぞ!

JICのホームページを
チェックしよう!

<http://www.jic-web.co.jp>

JIC のホームページ内に、ロシアのバレエやオペラなどエンターテインメント専門のページが出来ました! 詳細は13ページをご覧ください。



JICロシア語講座
10月より後期スタート!
東京&大阪 詳細は15ページです。

ロシア留学旅行相談 (東京・大阪各事務所)

ロシア留学・旅行のお問合せ・ご相談に
応じます。お気軽にお越しください。

東京事務所 平日 10-18 時 土曜 10-16 時
大阪事務所 平日 10-18 時 土曜 (6-9 月のみ) 10-16 時

留学・研修各種パンフレットは JIC へ
ご請求ください。留学・旅行相談お気軽に!

JICは頑張る人を応援します!

旧ソ連関係のイベント案内掲載をご希望の方は JIC までご相談ください。イベント時期の約2ヶ月前に情報をお送りください。JIC インフォメーションの発行は、1・2・4・6・9・11月の6回となります。

掲載内容が JIC の活動に合わない場合はお断りする場合がありますのでご了承ください。

◆◆編集後記◆◆

9月の前半、仕事でロシアのサンクトペテルブルグとモスクワへ行ってきました。いつロシアを訪れても必ず「前に訪れたときと違うなあ・・・」という印象を持ちます。もちろん日本でも、新しい建物が建ったり、流行が変わったりで、たまに訪れる人にとっては「変わったなあ」と感じさせるのかもしれませんが。住んでいると周りの変化には疎くなりますよね。実際「街の様子がずいぶん変わりましたね」と現地に住んでいる方に話すと、「どこが変わりましたか?」と逆に聞かれてしまいました。

モスクワでもペテルブルグでもそうですが、物価がものすごいスピードで上がっています。モスクワが世界で一番物価の高い都市になったのは有名な話ですね。東京や大阪も、世界的には物価の高い都市として知られていますが、モスクワはそれ以上です。なんでもかんでも値段が上がっていますが、特にホテルの料金にはびっくりしますね。JIC インフォメーションを読んでおられる方の中にはロシアに旅行したことのある方やこれから旅行したいと思っておられる方もいらっしゃると思いますが、JIC の旅行局で普段ロシア旅行の手配業務をしている私も、いつもモスクワのホテルの料金の高さには悩まされています。今モスクワではホテルの建設が相次いでいますが、今年・来年完成するホテルの多くは5つ星の高級ホテル。皆さんにリーズナブルにお泊りいただける3つ星ホテルが建ちはじめるのは2～3年後のようです。

ホテルとは全く関係ないのですが、つい最近モスクワに、あのスターバックスコーヒーのロシア1号店がオープンしました。場所はシェレメチエボ空港から市内へ向かう街道沿いの大型ショッピングセンターの中です。コーヒーの値段も高かったですよ。ラテのトールサイズが150ルーブル(約750円)です(苦笑)。ロシア限定の可愛いタンブラーが売られていたのでお土産に購入してみました。興味のある方はぜひ訪れてみて下さい。

(JIC 大阪 小西章子)



～Jクラブ(JIC友の会)のご案内～

JICインフォメーションを年6回、またJICのイベント案内をもれなくお届けします。
ご希望の方には入会案内をお送りいたしますので、ご連絡ください。
国際親善交流センター